

第 105 回技術講習会「保育施設等と騒音問題の関わり」開催報告

事業部会

騒音制御工学会創立 40 周年記念行事として、第 105 回技術講習会「保育施設等と騒音問題の関わりー子どもの育ちに必要な音環境づくりー」を、2017 年 3 月 8 日（水）に中央大学後楽園キャンパス（東京都文京区）にて開催致しました。当日は、保育の現場の皆様や大学関係、行政、建築関係者など全国から 83 名の方に御参加頂きました。

騒音制御工学会井上会長の挨拶の後、「子どもの暮らしを支える環境保全」（熊本大学：川井敬二准教授）、「子どもの育ちに必要な環境」（明治大学：野口紗生様）、「子ども環境に関わる地方自治体の対応」（騒音制御工学会：松島貢事務局長）、「地域共生に向けた取り組み」（横浜市立大学：三輪津江准教授）、「騒音制御工学による取り組み」（日本大学：富田隆太准教授）の 5 つのテーマについて多角的な視点からの講演が行われました。

休憩時間を挟んで、保育の場から東北沢ききょう保育園の山田静子園長、全国認定こども園協会の若盛正城代表理事（認定こども園こどものもり園長）に加わって頂き、明治大学上野加奈子准教授の司会のもとパネルディスカッションが行われました。山田園長からは保育園の新規設置に伴うご苦労、若盛代表理事からは落ち着いた音環境での保育の実践についてご紹介の後、参加者からの質問を受けつつ有意義な議論と情報提供が行われました。

講習会後のアンケートでは、「この問題は単なる騒音問題としての対応では無く、多面的な対応が必要であることを認識した」、「コミュニケーション等のソフト面の対策の大切さを感じた」「子育て・人育ての重要性を改めて感じた」「音環境だけの議論では無く、包括的な議論の中で音環境を位置づけることが大切であると感じた」等、今後の業務に役立つとの評価を多く頂きました。

今回の講習会は、昨今の音環境に関する最もホットな話題を取り上げることで、多くの方にご参加頂き、有意義な会とすることができました。皆様に感謝致します。



パネルディスカッションの様子

以上